



2020年10月8日

各位

上場会社名 株式会社リソー教育
代表者名 代表取締役社長 平野 滋紀
(コード番号: 4714 東証第一部)
問合せ先 取締役副社長 (CFO) 久米 正明
(TEL 03-5996-3701)

2021年2月期 業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年(令和2年)7月9日付「2021年2月期 業績予想に関するお知らせ」にて未定としておりました営業利益および経常利益並びに親会社に帰属する当期純利益につきまして、下記のとおり算定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	<u>27,000</u>	<u>未定</u>	<u>未定</u>	<u>未定</u>
今回修正予想 (B)	<u>26,000</u>	<u>1,510</u>	<u>1,500</u>	<u>1,000</u>
増減額 (B-A)	△1,000	—	—	—
増減率 (%)	△3.7	—	—	—
(参考) 前期実績 2020年2月期	26,704	2,716	2,749	1,953

2. 公表理由

当第1四半期では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い緊急事態宣言が発出され、休校を余儀なくされましたが、子どもたちの教育の場を守るために、同業他社には例のない徹底した感染防止策(高さ190cm超の壁に囲われたブースで、生徒と講師の間を仕切るビニールカーテンの設置、生徒および講師のサージカルマスク着用、講師のフェイスシールド着用など)を講じることで、子どもたちが安心して通塾できる環境作りに注力してまいりました。

今般、感染防止用の消毒液やマスクのなどの価格が落ち着いてきたことも踏まえ、算定することが困難であったため未定としておりました業績予想の営業利益および経常利益並びに親会社に帰属する当期純利益につきまして、現時点で入手可能な情報に基づき算定いたしました。

また、売上高におきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う国内での移動制限や各国における渡航制限などの影響により、ボリュームゾーンである夏休み期間の人格情操合宿事業でのツアー実施が前期を大きく下回ったため前回予想より下回りますが、新型コロナウイルスによる自粛の影響で減少が余儀なくされた生徒数は8月時点では順調に回復し、前期を上回っており、通期において売上高は前期並みの推移となる見込みです。

※上記業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上